

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月18日

計画の名称	地域の災害リスクを低減させる道づくり（市町村）（防災・安全）											
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）											
交付対象	都城市、小林市、三股町、綾町											
計画の目標	国土強靭化地域計画に基づき、地域の交通・輸送を支え、災害時でも機能する道路ネットワークを構築する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	745	A	745	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 道路整備等により、安全かつ円滑に通行できる区間の改良率を向上させる。 大型車両走行困難箇所の道路改良率 大型車両走行困難箇所の是正数／大型車両走行困難箇所×100	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
		定量的指標の定義及び算定式		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度
1	道路整備等により、安全かつ円滑に通行できる区間の改良率を向上させる。 大型車両走行困難箇所の道路改良率 大型車両走行困難箇所の是正数／大型車両走行困難箇所×100			0%	%	%	40%		

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="radio"/>	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靭化地域計画A1, A2, A3, A4, A5にしもろ定住自立圏共生ビジョンA2												

A 基幹事業																		
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間(年度)			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
		一體的に実施することにより期待される効果											R03	R04	R05	R06	R07	
		備考																
道路事業	A01-001	道路	一般	都城市	直接	都城市	市町村道	改築	(他)丸岡440号線・1工区	現道拡幅 L=0.30km	都城市	■	■	■			190	-
	A01-002	道路	一般	小林市	直接	小林市	市町村道	改築	(1)東麓石瀬戸線・3工区	現道拡幅 L=0.39km	小林市	■	■	■			185	-
	A01-003	道路	一般	三股町	直接	三股町	市町村道	改築	(2)島津紅茶園切寄線・1工区	現道拡幅 L=0.50km	三股町	■	■	■			125	-
	A01-004	道路	一般	綾町	直接	綾町	市町村道	改築	(1)八日町・尾原線・八日町工区	現道拡幅 L=0.43km	綾町	■	■	■			129	-
	A01-005	道路	一般	小林市	直接	小林市	市町村道	改築	(他)一本杉・川無線・1工区	現道拡幅 L=0.10km	小林市		■	■			116	-
											小計						745	
											合計						745	

## 事後評価

### ○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

宮崎県国土整備部管理課及び宮崎県国土整備部道路保全課

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

宮崎県ホームページ

### ○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

道路改良率が上がることにより、安全かつ円滑な通行ができるようになったことから、災害発生時に迅速な救命・救援活動が可能になるネットワークが構築され防災機能が高まった。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況(必要に応じて記述)

### ○特記事項(今後の方針等)

今後も改良率を上げ、安全かつ円滑な通行を確保し道路ネットワークの構築に取り組む。

○目標値の達成状況

番号	指標( 略称)	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	40%
	最終実績値	42% 補正予算を活用しながら事業の進捗を図れたため。